

富 山 県

富 山 県 退 職 校 長 会

結成 昭和40年5月16日

昭和40年5月に「校長旧友会」として、会員相互の親睦と福祉の増進を図ることを目的に、会員153名で結成され、昭和43年に「富山県退職校長会」と改めた。

活動としては、会員相互の連携の深化と組織の活性化を目指すとともに、県教育委員会や現職校長会との連携、生涯学習社会への寄与、学校支援活動などに努めている。

その主な活動は次のとおりである。

1 会員の連帯感の醸成と組織の活性化

本県には支部組織がない。代わりに会員の所属感を保つために、各地区から多くの理事（20地区等から100名）を選出して、事務局との連携が密になるようにしている。また、理事の代表で3つの委員会を組織し、会の活性化に資するようにしている。

○ 会報委員会

会報「高志路」を年3回発行しており、平成27年6月号で106号となる。会員相互の啓発・親睦・情報交換を図るため、提言・随想・趣味・近況・新しき歩み（新入会員）等を掲載し、多くの会員が参加できるようにしている。また、現職校長にも配布し、本会の活動内容を理解していただくようにしている。

○ 生涯学習委員会

各地域や職域において活躍されている会員の活動事例を紹介し、それぞれがより豊かな人生の歩みの参考になるよう、生涯学習実践事例集「志を生きる」を隔年発刊している。平成27年6月号で第8集となる。

○ 特別委員会

全連退本部からのアンケートの回答内容や教育諸課題の検討、また県教委や現職校長との懇談会に向けての意見・要望の取りまとめをする。

2 関係団体との連携

○ 県教育委員会との連携

教育長、教育次長、各課の課長・主幹等の出席をいただき、毎年7月に、今日的な教育課題などについて教育懇談会を実施している。

○ 現職校長会との連携

現職校長会と毎年1月に、学校教育の現状と課題を踏まえて意見交換をし、今日的な教育課題の理解に努めている。

3 学校支援活動

県教委の事業である初任者指導や小学校専科教員として、また地域社会で安全指導やふるさと教育等で多くの会員が学校支援を行っている。今後いっそう学校支援の輪が広がるよう関係団体の教育活動応援者ネットに登録するよう呼び掛けていく。



生涯学習実践事例集「志を生きる」